

【組合の概要】

千葉銀座商店街振興組合は、千葉県庁とJ R千葉駅との中間に位置し、同駅より徒歩10分、京成千葉中央駅から約3分の商業地区中心地にある典型的な都市型商店街である。設立も昭和38年8月と古くから法人化し、長年に亘り活発な商店街活動を展開してきた。現在も販売促進事業、イベント事業を中心に活発に活動をしている。商店街の衰退が叫ばれる中、千葉県下でもトップレベルの元気のある商店街である。現在「平成19年度千葉県みんなでつくる商店街モデル事業」実施中。

【理事長会社概要】

福井理事長は、有限会社福井商店2代目である。千葉名産「与三郎の豆」というとご存知の方も多いと思うが、千葉県産落花生加工販売、千葉県産品の販売をしている会社である。創業者は、お父様の兄、つまり伯父で昭和24年千葉市吾妻町（現中央区中央）に総三郎海苔店として、千葉沿岸乾海苔の買付及び卸小売を開業した。当時は兄弟で経営しており、翌25年に隣接して与三郎豆店として千葉近在の落花生の買付並びに加工卸

千葉銀座商店街振興組合 福井晶一理事長

◎ふくい・しょういち 昭和55年3月日本大学商学部卒業。大手レコード会社を経て、昭和58年福井商店入社。平成11年代表取締役。平成18年千葉銀座商店街振興組合理事長。51歳。



千葉銀座商店街振興組合

所在地 千葉市中央区中央2-5-1
 代表者 福井 晶一
 組合員数 98名 出資金 1050万円
 職員数 1名

中心市街地で ふれあい街づくり

小売を開業。「与三郎」の由来は、この時からで、歌舞伎通だった伯父が千葉県にゆかりのある「与三郎」を選択、総三郎海苔店と与三郎豆店で語呂がいいということで採用された。お店の方は28年に合併し、有限会社福井商店となった。以来「与三郎の豆」を中心に事業

展開している。直営店は、千葉銀座通りの本店のほか、そごう千葉店、三越千葉店、そごう柏店、高島屋柏店、船橋東武店、千葉ショッピングセンター、フードメゾンおたかの森高島屋店の計8店舗。そして卸取引先は、船橋西武、J R東海高島屋、稲毛サティ、アクアライン海ほたる、成田ボンベルタ、浜松遠鉄百貨店、そごう心斎橋本店他。

【福井晶一理事長の横顔】

福井理事長は、現在千葉県観光土産品連盟の副会長で、不法表示、上げ底等不適切な包装を排除する運動をしている。「与三郎の豆」は創業以来、県産品にこだわって加工、販売しているとのこと。地元商店街の会合や活動には必ずといっていいほど参加しており、お祭好き、世話好きの人柄を感じる事ができる。他に千葉市中心市街地活性化協議会委員をはじめとする多くの肩書きをお持ちである。趣味を伺ったところ、バンドと油絵とのこと、バンドは、学生時代からドラムスを担当しており、商店街イベントで演奏するとか？

座右の銘は「何はなくともカラ元気」。昭和55年税務署より優良申告法人として表彰され、千葉東優申会の会員でもある。

